

P R E S E N T A T I O N

平成24年度在宅医療連携拠点事業 (株)在宅ケアセンターひなたぼっこ における活動報告



(株)在宅ケアセンターひなたぼっこ

- ・ 訪問看護事業
- ・ 療養通所介護事業
 - ・ 日中一時支援事業
 - ・ 多機能型事業
(児童発達・生活介護)
- ・ 指定一般相談支援事業

タスク

課題

多職種連携の課題に対する解決策の抽出

顔の見える関係性の構築ができていない。
(特に訪問看護と地域との連携が薄い)

在宅医療従事者の負担軽減の支援

多職種が活用できるタイムリーな情報共有システムの構築ができておらず、連絡・報告にかかる時間が多い。

効率的な医療提供のための多職種連携

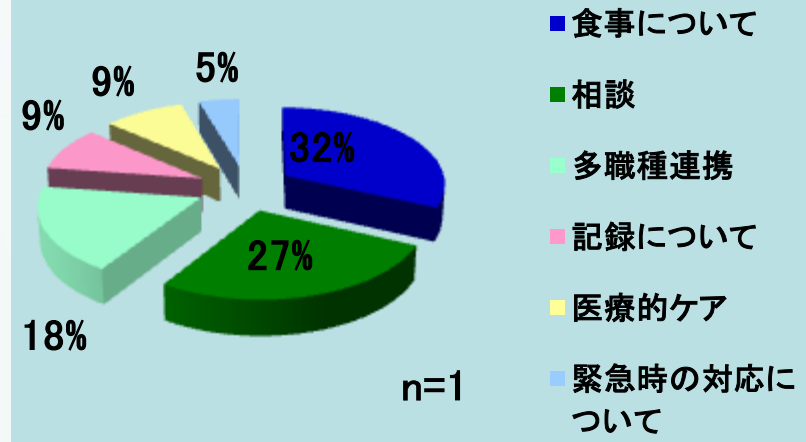
病院での在宅についての情報が不足している。
多職種から医療的な相談をするところが分からない。また、敷居が高くて相談しにくいとの意見がある。
在宅の要である介護職のスキルアップが必要である。

在宅医療に関する地域住民への普及啓発

訪問看護利用からの関わりではなく、早い段階からの健康維持・増進のための関わりが必要である。

活動実績

地域の訪問介護職の不安に思っている事
(複数回答)



□ 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

1. 地域ケア会議
2. ケアネット久米(多職種及び住民による勉強会)
3. 地域の資源マップ作成
4. アンケート調査

□ 在宅医療従事者の負担軽減の支援

タブレット型ipadで愛媛県医師会のサーバーを活用して在宅連携システム開発及び試験運用

□ 効率的な医療提供のための多職種連携

1. 病院スタッフに対し、訪問看護や在宅サービスの普及・啓発活動
特定機能病院(講義:月1~2回)、訪問看護実習
2. 介護職員に対するスキルアップ活動
3. 困難事例に対する相談、関係機関との連携・調整(事例紹介)

□ 在宅医療に関する地域住民への普及啓発

1. 週2回、市の交流センター内で無料相談会
2. 携帯電話による24時間対応の相談の開設
3. ブース内でのベビーマッサージや脱水に対する勉強会の実施
4. 健康セミナーの開催

介護職員に対するスキルアップ活動

- 県栄養士会の協力によるヘルパー調理実習
全6回 定員16名/回
- 栄養についての講義
参加者：28名
- 低栄養について 2回実施
参加者total：81名
- ポジショニング講習
参加者：29名
- 人工呼吸器勉強会
参加者：24名
- 行政との連携による吸引のフォローアップ研修
定員：15名
- 調剤併設型ドラッグストアの薬剤師による薬の勉強会
参加者：28名



薬の勉強会風景



ヘルパー調理実習

H24.7月～12月まで毎月
地域の集会所で開催





**効率的な医療提供のための多職種連携
学習会（事業所内で開催）**



写真を使用するに当たり了承を得ております

医療依存度の高い困難ケースの場合



里帰り出産後、障害を抱えた子供と共に、夫・子供のいる松山への帰りたい



県外の病院
訪問看護

電話相談



訪問看護、訪問介護



松山市病院のDr. MSW



呼吸器メーカー

連携



地域の役場

相談



地域の福祉相談員

相談

相談



保健センター

夫は夫で妻とは別に電話相談



松山市在住の
夫・子供

関係職種でカンファレンスを行い、支援体制、環境調整、緊急時の体制などを検討。その結果・・・



**安心して夫・子供のいる松山に帰り、
スムーズに在宅生活が始まりました!!**

在宅医療に関する地域住民への普及啓発

ベビーマッサージの様子



活動内容

- 無料相談会（週2回）
- 24時間対応での電話相談
- ベビーマッサージ教室（月1回）
- 勉強会の実施（脱水について など）

実際の相談の様子



市内中心の大型アーケード内にある
松山市まちなか子育て・市民交流センターを利用

**楽しい老後を
過ごすために**

～健康に老いるための学び～

参加費
無料

日程 平成25年 **1月13日** 13:00～15:35
(12:00開場)

会場 ひめぎんホール サブホール
岡山県岡山市中区1-1-1 086-929-4221-5111

特別講演会

「元気で長生き
するための秘訣」
東海大学工学部医学系研究科 加齢制御科学
教授 三本 哲郎先生

「体に良い健康づくり体操」
認定健康指導員 松本 陽子先生

「シルバー世代の栄養について」
岡山県立大学 健康 栄養学 教授 田方 幸恵先生

「シニア世代の栄養について」 「情報の取扱いについて」



講演会風景

年代別セミナー参加者の興味を持った内容

(複数回答)

